

# 「令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

あわら市細呂木小学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

家庭代表(2名)…PTA会長, 母親代表  
地域コーディネーター(6名)  
区長会(2名)、こども園長(1名)、  
民生委員(1名)、公民館長(1名)、  
学校支援ボランティア代表(1名)  
学校代表(3名)…校長、教頭、教務  
【合計11名】

### (2) 協議会の内容

開催回数 年3回  
開催日程 7月2日、11月15日、2月29日  
協議内容  
・取組みについての確認  
・学校運営の基本方針の検討、策定  
・『家庭・地域・学校協議会提言』の策定  
・学校関係者評価の実施  
・地域と進める体験推進事業の策定

### (3) 協議会における成果と課題

長期休業中の児童の生活について、生活習慣を崩さず、よりよく過ごすためにはいかにあるべきかを話し合い、5つの項目を決め提言書としてまとめた。その結果、「読書」「お手伝い」「あいさつ」「優しい言葉遣い」は高い割合で実施できていた。今年は、家庭だけでなく地域にも協力をお願いしたのがよかったと思われる。しかし、「ゲーム」については達成率が下がってきていることが分かり、今後の課題となった。また、地域と進める体験推進事業と連動した企画について検討したり、結果を考察したりした。事業内容については概ね好評であった。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

身近な地域の自然、文化、産業等を、地域の人と関わりながら学ぶ体験活動を通して、地域の環境、歴史、伝統、文化のすばらしさを体感させ、ふるさと細呂木への誇りと愛着をもち、将来にわたって地域のあり方が意識できる、心豊かでたくましい児童を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ① 柿の摘果作業と収穫体験、吊るし柿作り(3年生)

細呂木地区は柿作りが盛んな地域で、学校周辺にも柿農園が何か所かある。そこで本校では、数年前から柿栽培に関する体験学習を実施している。

6月、児童たちは、柿の種類や栽培方法等について、一人一人が本やインターネットを用いて調べた。その後、地域の方々の協力を得て摘果を実施した。2人1組で協力しながら、楽しそうに取り組んでいた。

11月、実った柿の収穫体験を行った。たくさん収穫ができ、うれしそうな顔の児童たち。最後に合わせ柿作りも行った。その後、地域の方を講師に招き、吊るし柿作りを体験し、ここまでの柿に関する体験を、一人一人が図や文章で画用紙にまとめ掲示した。



(様式3)

## ② 金津創作の森美術館での鑑賞体験（全学年）

本校校区には、坂井地区で唯一の美術館がある。今年から、児童の感性を育成するために、金津創作の森美術館と連携した体験活動を始めた。

6月と12月に全校児童が美術館を訪れた。6月は絵皿を創作し、12月は「八田豊展」を鑑賞した。児童たちは本物の芸術にふれ、大変喜んでいて。

10月には創作の森職員が講師として来校し、児童に即興音楽を創る体験をさせてくださった。児童が一つの円になり、それぞれが多様なドラムをたたくことで、音楽のすばらしさを学ぶことができた。



## (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・米作り等のアドバイザー兼地域団体との連絡調整
- ・各種協力団体との連絡調整
- ・環境学習や美術館での活動の企画と実践

## (4) 特に工夫した事項

コーディネーターの選出にあたり、体験させたい内容と適合する技術を有する方の情報を取得し、地域の各種団体に依頼した。

## (5) 成果と課題

これらの活動を通して、児童たちは普段感じる事が少ない「ふるさとのよさ」を体験し、理解することができた。ひとえに、地域コーディネーターの皆様の尽力によるものと感謝している。農業や伝統文化などの体験は、教科書を読むだけでは決して身につかない貴重なものであり、今後も継続していきたいと思う。また、本年度から始めた美術館との交流による体験学習で、児童たちは生き生きとした表情で活動し感性を育てていた。

しかし、天候不順のため予定していた活動が中止となったものがあり残念な思いもした。また、時間を要する活動もあり、他の授業時間を確保するために効率よく実施することも検討していかなければならないと思う。